

令和8年度 学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：35501

「学ぶ力」	
実態	課題
<p style="text-align: center;">成果</p> <p>◇生徒アンケート、札幌市共通指標アンケートの結果から、協働的な学びにおいて、考えを見直したり、気づいたり、深めることができている生徒が多い。</p> <p>◇生徒アンケート、札幌市共通指標アンケートの結果から、振り返りから自分の伸びや成長を感じたり、次に生かそうとする生徒が増えている。</p> <p>◇全国学力・学習状況調査、札幌市ICT活用についてのアンケートの結果から、情報収集や、自分の意見の表現及び友達の意見を知るツールとして積極的に活用しながら自ら学習を進めていると実感している生徒が増えている。</p> <p>◇札幌市共通指標アンケートの結果から、「分からないことがあったときに、友達や先生に聞くようにしている」生徒が増えている。</p>	<p style="text-align: center;">課題</p> <p>◇課題に対し、自分で解決方法を考えることができる生徒が多いが、「自分の意見を進んで発言する」生徒の割合が低く、自分の意見を考えることから、表現して伝えることに繋げることに課題がある。</p> <p>◇生徒アンケートの結果から、振り返りを通して、次の課題への具体的な目標設定に苦手意識のある生徒が多い。</p> <p>◇全国学力・学習状況調査では、「あなたの学級では、学校生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」の肯定的回答が全国平均を3ポイント以上下回っている。</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
<p>◇札幌市共通指標アンケートで、「人のよいところを見付けようとしている」「人の役に立ててうれしいと感じることがある」「人の役に立つ人間になりたいと思う」の相互承認に関連する項目について、肯定的な回答の割合が9割を超えている。ただし、「自分が必要とされていると感じる」の項目は他と比較すると割合が低い傾向にある。</p> <p>◇生徒アンケート等の結果から、様々な意見を認め合いながら話し合ったり、意見の違いを楽しんだり感じる生徒は多い。引き続き、自己理解、他者理解を深めながら思いやりをもって互いを認め合う場を設けていく必要がある。</p>	
「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力 自分の考えをもち、豊かに表現する力	
取組	課題探究的な学習の推進 に向けて
<p>(1)「学び合う授業づくり」の実現に向け、「意欲を高める課題設定の工夫」「学び合いによる、考え、表現する力の育成」「聴き合う集団作り」を重点に、教職員が互いの授業の成果と課題を交流する機会を設定する。</p> <p>(2)単元内に、<u>生徒が学習の見通しをもち、言語活動によって自分の考えを伝えたり、友達の考えと比較して自分の考えを見直したり深めたりする場、及び自分の学習を振り返る場を位置付ける。</u></p>	<p style="text-align: center;">自治的な活動の充実 に向けて</p> <p>①創意ある生徒会活動を土台とした「自立を目指す清中生」の育成 →よりよい学校、学級にするため、学校生活の不十分な点について自浄効果を高める日常活動に取り組む。</p> <p>②自分たちの生活を振り返る場の設定 →各学級の短学活及び全校共通の学習手帳による生活の見通しと振り返り</p> <p>③パートナー校と連携して取り組む「あいさつ運動」</p>
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について	
<p>◇主に(2)について、授業において、生徒が考えを表現したり、友達と考えを交流したり、学習を振り返るために適当な特色のツールを活用する。</p>	<p>◇主に③において、パートナー校とオンラインミーティングを行い、子ども同士の考えをつなげる。</p>

<本プログラムの実行に向けて>



